



みんなが安心して 住み続けられる「住まい」をつくる

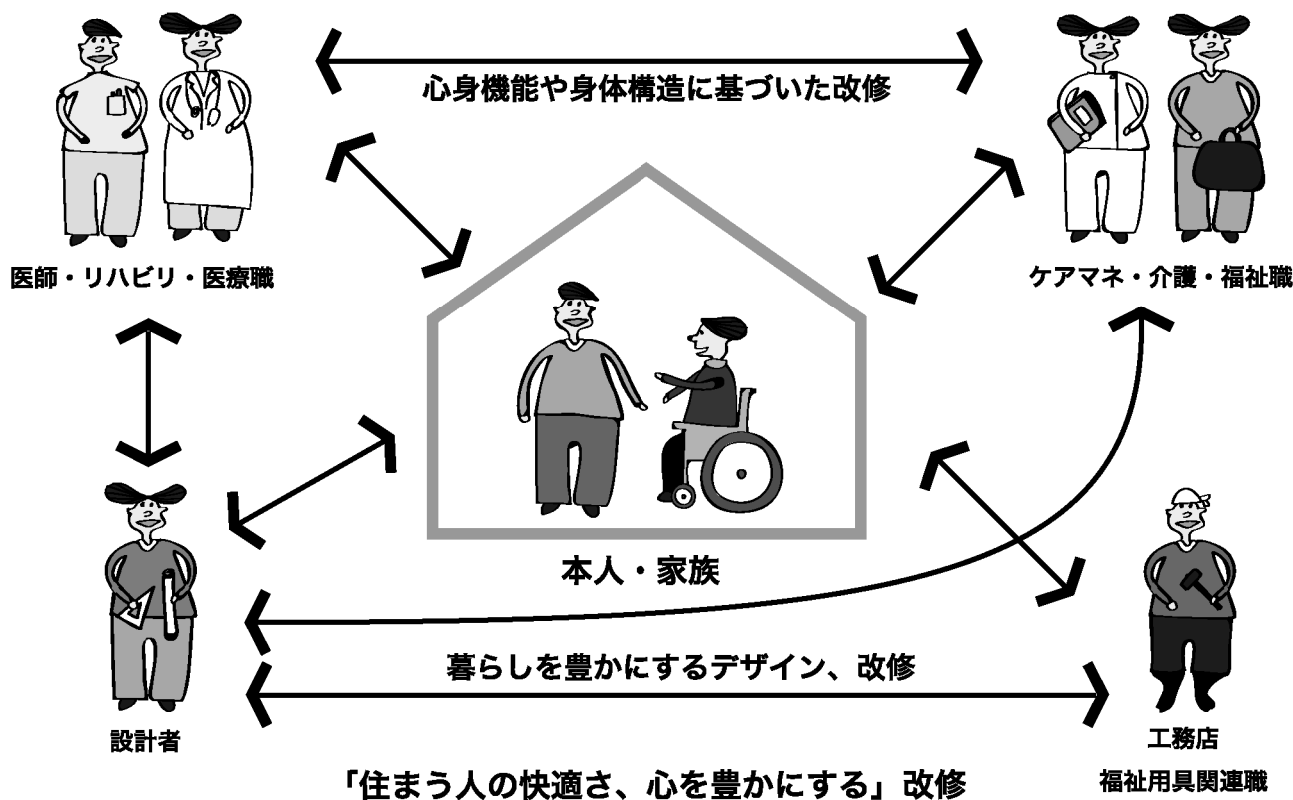
多摩ニュータウン・ケア連携バリアフリー改修事業

誰もが住み続けられる住まいをつくる

「高齢になっても病気にかかっても障がいがあっても、いつまでも自分らしい生活を続けたい。」その暮らしの基礎となるのが「住まい」です。住み慣れたお家が元気（使いやすく）になれば、私たちの身体も元気になるのではないのでしょうか。

私たちは、医師・リハビリ・医療職、介護職、福祉職等といったソフト部分の専門家とまちづくり、建築設計者、建築施工者といったハード部分の専門家と一緒に、「おうちを元気にからだを元気に」という事業を立ち上げました。住み慣れた地域や「住まい」でいつまでも暮らせるように「誰もが住み続けられる住まいをつくる」体制づくりを目指しています。

2年目を迎えた今年度に行った4件の改修工事事例をご紹介します。参考にさせていただきたいと考えております。



チームで取り組むメリット

- ・ご本人の希望を基本に、家族と各分野の専門家が一緒に相談することで、将来の事も考えた多様で柔軟な「住まい」の在り方を提案する事ができます。
- ・身体の状態を把握した医師、医療、介護、福祉の専門家と、住宅環境に詳しい設計者が協力し、各人の「住まい」にふさわしい生活環境の整備を行う事ができます。
- ・工事を行う工務店や施工業者とは分離した設計事務所が設計を行うことで、限られた予算の中で効果的で適切な改修を行う事ができます。
- ・地域を拠点に活動する医療・設計・工事関係者の連携で、継続的なアフターケアをすることが可能になります。

連絡先「おうちを元気に からだを元気に」事務局(横山環境計画事務所内) <http://www.ouchi-karada.com>

[補助事業者] 有限会社 横山環境計画事務所 横山真理

[共同事業者] ひとみタウンケアクリニック 多摩市住宅建設協同組合